



Green×Tech City
Kitakyushu

Green × Tech City Kitakyushu

目指すのは『世界を先導する
「グリーン × テック シティ
Kitakyushu」』



目指すのは『世界を先導する 「グリーン×テック シティ Kitakyushu」』

かつて官営八幡製鐵所を中心に日本の近代産業を牽引した「ものづくりのまち」、北九州市。鉄鋼や化学をはじめとする重厚長大産業が集積し、高度経済成長期には世界から注目を浴びた。しかし、近年では少子高齢化、人口減少、産業構造の転換などのさまざまな課題が顕在化している。

このような時代の転換期において、北九州市の産業の未来のビジョンを示す「北九州市産業振興未来戦略」を策定し、『世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」』をスローガンに掲げ、再び世界と未来を見据えた「稼げるまち」の実現に取り組んでいる。この戦略は、長年にわたり環境都市として

積み重ねてきたグリーン技術と、ロボティクスやAI、量子技術などの先進的なテックを融合させ、地域の成長と持続可能性を両立させる都市像を実現するものだ。

北九州市には、製造業を中心に環境やエネルギー関連技術、大学や研究機関による知の集積、さらには空港・港湾・鉄道・高速道路といった物流インフラが集約されている。これらの資源を点ではなく、線や面で結び、民間、大学、行政が一体となって共創する産業エコシステムを構築し、地域経済の活性化へとつなげている。

このような包括的かつ持続的な取り組みにより、北九州市は「課題解決先進

都市」として、地域からグローバルな社会課題の解決に貢献する都市像を描いている。経済、環境、そして社会をつなぐ「グリーン×テック」を軸に、北九州市の新たな成長モデルが今、動き出している。

この先には、地域から始まるイノベーションが新たな産業を生み出し、市民の暮らしを支え、地域経済を支える大きな力となるだろう。「グリーン×テック」による北九州モデルの実現に向けて、すでに歩みを始めている。

目標は市内総生産4兆円

3つの重点戦略で「稼げるまち」を実現

産業振興未来戦略では、北九州市の産業を発展させるために3つの重点戦略を掲げている

1 Strategy

高付加価値化

地域企業の成長・発展と 高付加価値化戦略

地域企業の競争力向上に向けて、DXの推進や業務プロセスの改善、脱炭素対応を支援し、生産性向上と業務効率化を図る。あわせて、製品・サービスの高付加価値化、新市場の開拓、販路の拡大を通じて、収益力の強化と持続的な成長を後押しする。
また、製造業が集積する地域特性を活かし、既存の技術や人材を核とした新たな事業展開を推進。変化に対応できる柔軟な事業体への転換を進め、持続可能で収益性の高い「稼げる企業」の育成を目指す。

2 Strategy

成長産業創出

産業の裾野を広げる 成長産業創出戦略

水素、グリーン成長、DX、健康・医療など、将来の成長が期待される分野において、新たな産業の創出に取り組む。先端技術の導入、研究開発、人材育成を支援し、スタートアップや地域企業の高度化と事業の拡張を促進する。
あわせて、大学や研究機関との連携を強化し、地域資源を活かした新たなビジネスモデルの構築を推進。産業構造の転換と持続可能な経済基盤の確立により、地域経済の活性化を図る。

3 Strategy

資源活用

「民」が主役となる 共創型産業エコシステムの構築

北九州市の強みである港湾、空港、鉄道、高速道路などの物流インフラや、学術研究機関、次世代エネルギー関連施設といった多様な地域資源を活用し、企業やスタートアップの挑戦を後押しする。起業支援拠点の整備、実証フィールドの提供、資金調達や販路開拓の支援などを通じて、事業の創出と成長を支える。
また、民間、大学、行政が連携し、地域全体で新たな価値を生み出す産業エコシステムの形成を目指す。

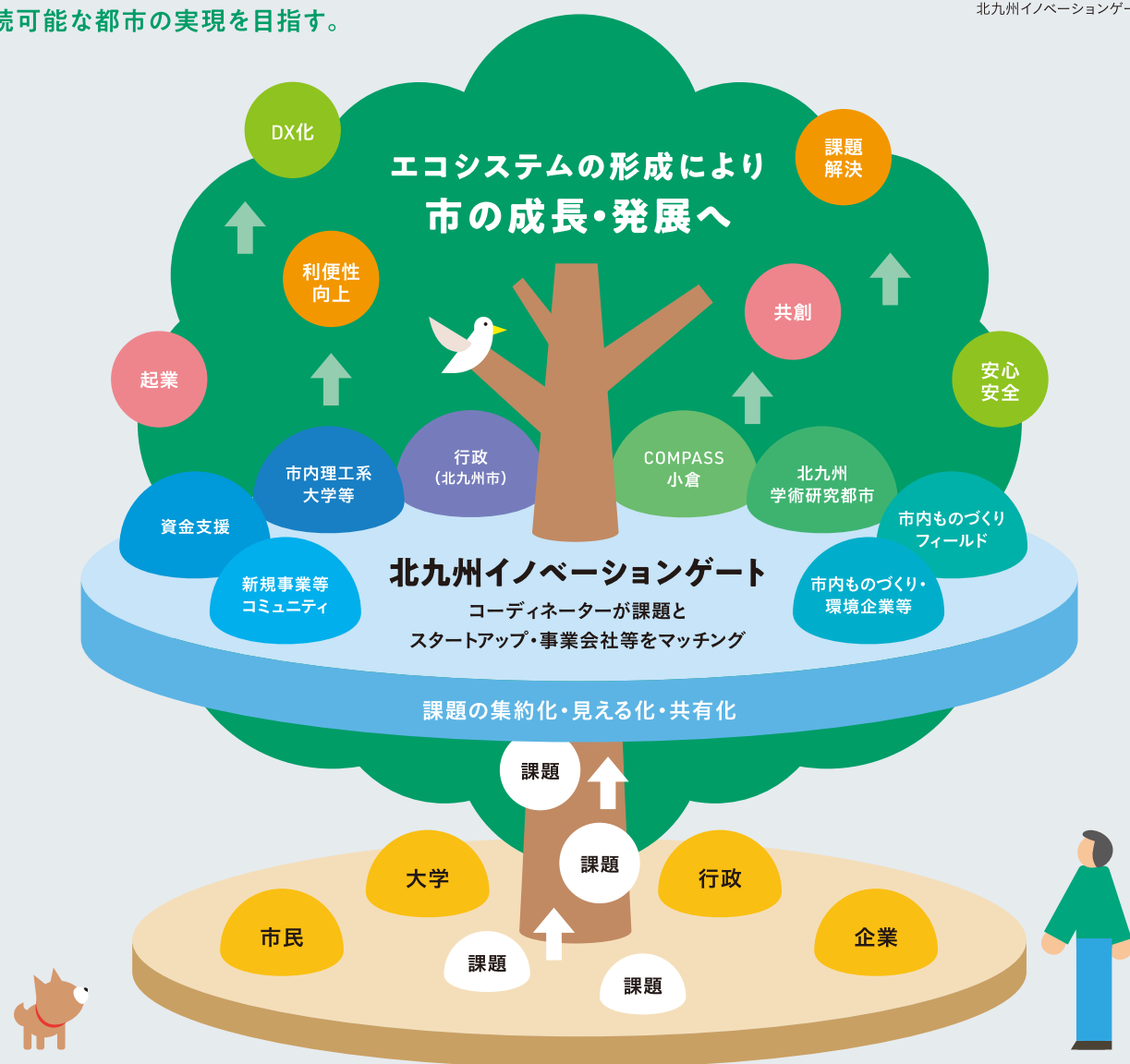
Startup Ecosystem in Kitakyushu

北九州市スタートアップのエコシステム

スタートアップや地元企業、大学、金融機関など多様な主体が連携する支援拠点を核に、価値創出型産業の集積を促進。「北九州イノベーションゲート」を中心に、人材・資金・技術が循環する仕組みを整え、挑戦が次々と生まれる持続可能な都市の実現を目指す。



北九州イノベーションゲート



北九州市スタートアップのエコシステム図

北九州市は、産学官金の連携により、スタートアップや地元企業が集い、新たな価値を生み出す「エコシステム」の形成を推進している。創業支援、資金調達、実証実験、研究開発、販路開拓、人材育成など、多様な機能を市内各所に整備された支援拠点などとともに展開する。

エコシステムの中核には、地域課題などとスタートアップをマッチングさせる「北九州イノベーションゲート」を据え、行政・企業等とスタートアップとの共創による課題解決及び成長を目指す。

また、国内外の都市や支援機関との連携を強化し、広域的な協働によって

新たなビジネス展開のチャンスを広げている。この取り組みを成長戦略の中核に据え、都市全体でイノベーションを加速させる体制を整備しつつある。

こうした動きは、雇用の創出や若者の定着促進にもつながり、都市の持続的成長を支える原動力となっている。

Special Interview

Masashi Takeyama

北九州市の「顔の見える関係性」で目指す 製造業とスタートアップの融合

北九州市の強みは、企業・大学・行政が互いに「顔の見える関係性」で結ばれている点です。これにより連携が円滑になり、スタートアップの成長が加速します。私たちは「日本から新しい産業を創出し、社会課題の解決に貢献する」ことを掲げ、特に北九州市では製造業とスタートアップの融合こそが日本発のグローバル産業を生み出す原動力になると確信しています。

市内には、ハードウェアの試作から実証実験、ビジネス展開までを一貫して行える環境が整っています。優れた製造業が集積しているため、スタートアップは開発直後から実証フィールドを確保し、テスト結果を即座にフィードバックして改善できます。

さらに、北九州市は政令指定都市の中で最も高齢化率が高く、医療・介護DXなど高齢社会の課題に取り組むスタートアップにとって理想的な実証の場です。ここで得られた成果は、今後世界各地で進行する高齢化へのソリューションにも応用できます。

私たちは「北九州市のアセットを活かし、世界中から起業家を呼び込む」戦略を推進中です。学生や地元企業に加え、国内外から多様なバックグラウンドを持つ起業家が集まることで、互いに刺激し合い、新しい視点と気づきが生まれています。こうしたグローバルな交流がエコシステム全体の底上げにつながると信じています。

北九州市は、日本の高度な製造技術と、高齢化という世界共通の課題解決の両面で先進的な実践の場です。地域資源とスタートアップの革新力を掛け合わせ、世界で戦える新たな産業を育てることが私たちの使命。ここから生まれるビジネスは日本の経済成長を牽引し、世界の社会課題にも変革をもたらすと考えています。そんな未来を描きながら、私たちは地域とともに歩んでいきます。

9Capital 合同会社

代表パートナー
竹山 将志 | Masashi Takeyama

ベンチャーキャピタリスト／北九州市企業誘致アドバイザー。
シード～レイター期にリード投資を行い、複数のアクセラレーションプログラムで起業家育成にも関わる。

有望な北九州市発スタートアップ

Pick up
STARTUP 1

EVバス、EVトラックの導入で切り拓く ゼロエミッション社会

株式会社EVモーターズ・ジャパン

代表取締役社長 佐藤 裕之



商用EV(電気自動車)市場は現在、急速な成長を遂げています。私たちは、独自技術を搭載した高性能な商用EV車両を開発し、バスやトラック、さらには特殊車両にいたるまで、さまざまなEVを全国の公共交通機関へ導入を進めています。

これらの車両は、走行時に二酸化炭素(CO₂)を一切排出しないため環境負荷を大幅に低減します。また、大容量バッテリーを搭載している商用EVは、非常時には動く蓄電池としても活躍可能です。この特長を活かし、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速しています。

さらに、北九州市若松区に商用EV最終組み立て工場を有し、ゼロエミッション社会の実現をコンセプトにした体感型EV複合施設「ゼロエミッション e-PARK」を建設中です。EV技術の発信、地域経済の活性化、そして雇用創出に貢献していきます。



Pick up
STARTUP 2

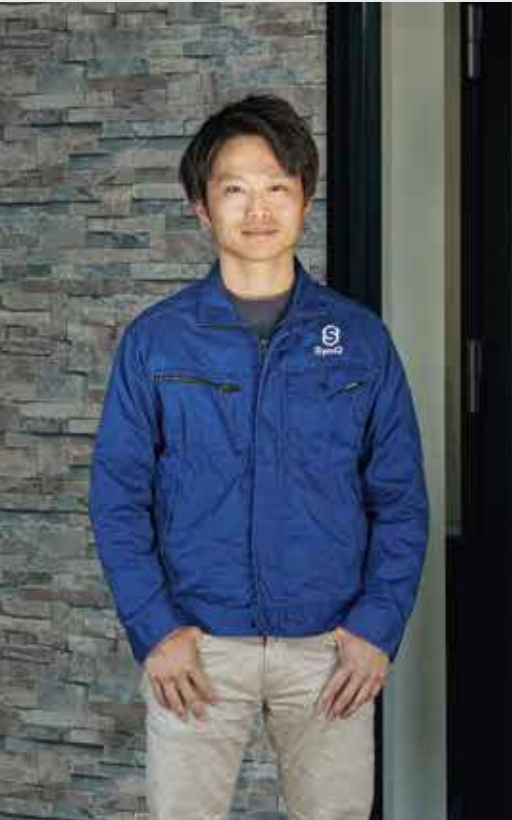
レガシー産業をアップデートし 持続可能な未来へ

株式会社クアンド

代表取締役 CEO 下岡 純一郎



技術者不足が懸念される建設業界に対し、解決策の一つとして、ビデオ通話ツール「SynQ Remote(シンクリモート)」を提供しています。現場に赴く時間を削減し、複数の現場を効率的に管理できるようにすることで、限られた人材資源の有効活用を可能にします。創業当初より、北九州市からの支援を受けたことで、事業基盤を安定的に築くことができました。これにより、地域企業や自治体とのネットワークが広がり、事業の展開も加速しています。北九州市には、ものづくりを中心とした産業アセットが豊富に存在し、そのような地域特性を活かすことが、スタートアップの成長にとって重要だと感じています。他都市の施策を追うのではなく、この地に根差したポテンシャルを最大限に引き出す環境づくりが、今後さらに求められると考えています。



Pick up
STARTUP 3

生産のあり方を「移動」から変える 九工大発スタートアップ

株式会社TriOrb

代表取締役 CEO 石田 秀一



製造現場での効率化を実現する移動ロボット「TriOrb BASE」を開発しました。駆動機構に球体を採用しており、球が転がることで全方向に自由に動けます。これにより、狭い通路や段差があっても、高精度で物を搬送できます。また、他のロボットとの連携により、柔軟で効率的な生産ラインを構築でき、製造業の現場効率が大幅に向上します。

北九州市の強みは、「ものづくり」の街として、知識や経験が豊富な人材が集まっている点です。特に理系の技術を持った人が多く、シニア層には長い経験を持つベテランがたくさんいます。私たちは、設計や製造に関する豊富な知識を持つ人材を活用したチーム作りを進めており、彼らの力を借りて製品開発に取り組んでいます。



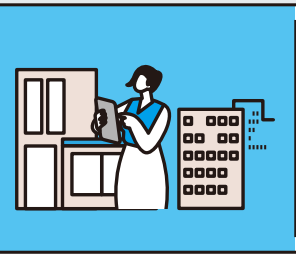
数字で見る

北九州市のスタートアップの現状



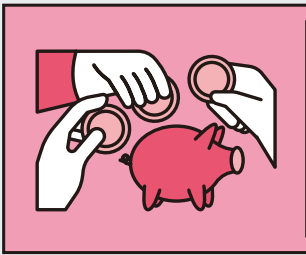
新興・
スタートアップの
出現率

全国 **1** 位



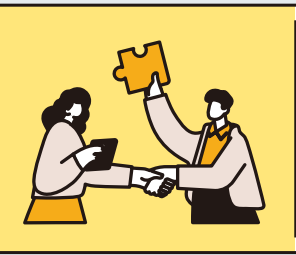
事業展開する
スタートアップ

101 社



スタートアップ支援
累計調達額

126 億円



北九州市認定VC

32 社

北九州市の中核創業支援施設



Compass 小倉

北九州市小倉北区浅野3-8-1
AIM(アジア太平洋インポートマート)ビル6F

「日本一起業家に優しい場所」になる

COMPASS小倉(正式名称:北九州テレワークセンター)は、2000年に設置された創業支援施設です。市民が情報通信技術を活用できる環境を整え、ベンチャー企業や中小企業の創出・育成を支援してきました。2018年には施設を全面リニューアルし、「日本一起業家に優しいまち」を掲げる北九州市の中核拠点として、新たなスタートを切りました。施設内では、事業スペースの提供をはじめ、経営に関する相談、創業セミナーやイベントの開催など、多角的なサポート体制を整えています。創業初期に直面する課題には、個別相談を通じた伴走支援型のサポートを強化。起業家一人ひとりに寄り添った支援を行っています。また、施設内では定期的にネットワーキングイベントも開催されており、起業家同士が互いに成長していける環境づくりに力を注いでいます。



フリースペース



固定席



チームルーム

Support

創業サポート

創業相談

起業を予定している、または創業後間もない起業家、経営者を中心に、インキュベーションマネージャーによる創業相談を平日毎日対応しています。相談者のニーズに合わせて、起業アイデアについてのブラッシュアップ、資金調達、事業計画の策定など幅広いテーマで相談に応じています。

北九州市開業ワンストップセンター

行政書士に無料相談できる北九州市開業ワンストップセンター。法人設立に係る相談、定款の作成、公証役場での定款認証、法務局への提出まで、行政書士がマンツーマンでサポートを行います。

Program

起業家支援プログラム

アクセラレーションプログラム

COMPASS小倉アクセラレーションプログラムは、起業家が方向性を見出し、力強く前進するための短期集中型プログラムです。起業家との対話から生まれる共感と理解を基盤に、メンター陣が継続的なメンタリングを実施。プレシード/シード期のスタートアップに寄り添う、日本一起業家に優しいプログラムを提供します。

起業家セミナー powered by 創生塾

COMPASS小倉では、「創生塾」とのコラボにより、「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」を中心に多様な講座を開催しています。起業を目指す方はもちろん、起業後の方も参加可能です。(北九州市特定創業支援事業認定講座)

Event

イベント開催

年間100本以上のイベント開催

スタートアップ関連のイベントをはじめ、交流会やセミナーなど、年間で100本以上のイベントを開催。イベントスペースとして利用も可能。



北九州市内のイノベーション発信拠点



ATOMica北九州

北九州市小倉北区京町3-1-1
セントシティ7F

人と出会い、未来が動き出す コミュニティ型拠点

ATOMica北九州は、約233坪を誇り最大80名程度収容可の coworkingスペースです。単なる作業スペースにとどまらず、利用者同士の交流から新たなビジネスや挑戦が生まれる、コミュニティ型の拠点です。常駐のコミュニティマネージャーが日々の出会いや活動をサポートし、多様な人々のつながりと可能性を育てています。



DISCOVERY coworking

北九州市小倉北区浅野1-1-1
ピエラ小倉1F

5G常設。 未来型ワークを叶える次世代型施設

DISCOVERY coworkingは、JR小倉駅構内に位置する次世代型 coworkingスペースです。全国初となる5G通信環境を常設し、リモートブースや配信ルーム、プライベートオフィスなど多彩な設備を完備。快適な作業環境はもちろん、先進的なビジネスや実証実験の拠点としても活用されています。



GYMLABO

北九州市戸畑区仙水町 1-1

学生・企業・地域が交わる共創の空間

GYMLABOは、九州工業大学の旧体育館をリノベーションして生まれた共創型 coworkingスペースです。学生、教職員、企業、地域住民が自由に交流し、課題解決や新たな価値創出に挑戦できる場として機能。会議室やセミナールーム、シェアオフィスなど多彩な設備を備え、オープンなイノベーションを支えています。



HIBIKINO ODORIVA

北九州市若松区ひびきの2-1
産学連携センター1F

分野を越えてつながる場所 北九州学術研究都市の コミュニケーションスペース

HIBIKINO ODORIVAは、4つの大学の理系学部が集積する北九州学術研究都市に位置するコミュニケーションスペースです。学生、留学生、研究者、企業の人たちが自由に集い、分野や立場を超えてつながり、新たな学びや挑戦が生まれる「学研都市のハブ」としての役割を担っています。



市内で行われている主な支援プログラム・イベントほか



Event

ビジネスイベント

WORK AND ROLE

北九州市が仕掛けるスタートアップ支援の最前線

北九州市は、2020年に内閣府の「スタートアップエコシステム推進拠点都市」に採択されて以降、官民連携のもとでスタートアップの育成に積極的に取り組んできました。その中心的役割を担うのが、「北九州市 SDGs スタートアップエコシステムコンソーシアム」です。安川電機、TOTO、第一交通産業、ゼンリン、九州工業大学をはじめ、産学官金が連携し、スタートアップの成長を支える枠組みを構築しています。こうした支援の成果を発表し、さらなる発展を目指す場として誕生したのが「WORK AND ROLE」です。2025年3月28日に開催された本イベントでは、支援事業の成果発表に加え、Z世代の挑戦を応援する取り組みや、大企業とスタートアップの連携を促進するセッションも実施されました。北九州が持つ豊かな産業基盤を活かし、新たなビジネスエコシステムの創出を目指します。

ごっつあんの会

毎月最終金曜日に、同じ時間と場所で開催される、スタートアップ関係者とつながる事ができる交流イベントです。2021年10月に紹介制でスタートし、約3年半にわたり市内外の参加者の輪が広がっています。思いがけない出会いや会話が生まれる、自由で開かれた交流の場です。



The Partyz@KITAKYUSHU



「挑戦したい学生と挑戦している社会人の交流の場」をコンセプトに、学生団体等が主体となって定期的に開催するカジュアルな交流イベントです。学生や起業家、社会人が集まり、ピザなどの食べ物を片手に、気軽に語り合うことができます。



<https://thepartyz.com>

Program

ビジネスプログラム

企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業

未来の地域経済を牽引するような市内スタートアップの成長、優れた技術・斬新なビジネスアイデアを有する市内外のスタートアップによる行政課題の解決や市内企業との協業を通じたイノベーションを創出することで、本市の経済成長及び課題解決に貢献することを目的とします。



令和6年度採択企業 株式会社ミラリンク 代表取締役CEO 佐取 直拓 氏

次世代BizDev人材育成プログラム

未来の事業創造を、あなたとともに

北九州市内を中心とする大学生・大学院生を対象に、事業開発に必要な知識・スキルを実践的に学ぶ3ヶ月間の集中プログラムを提供しています。実践的なスキルが習得でき、将来の選択肢を広げることが可能になります。次世代を担うBizDev人材育成プログラムで夢への第一歩を踏み出してみませんか？

キタキュープロモーション

地域とともに、課題解決に挑む実践型起業プログラム

北九州市立大学の学生がCOMPASS小倉など地域拠点や地元企業と連携し、地域課題の解決に挑む実践的な起業プログラムです。ビジネスの立案から実行までを経験し、地域と向き合いながら行動する力と感動を得られる学びの場です。学生の自由な発想を活かしたプロジェクトは、地域の日常に寄り添いながら、新たな価値を生み出しています。

小中学生向けアントレプレナーシップ教育

未来のスタートアップを育成するプログラム

市内の小中学生を対象に、スタートアップとの双方向の交流の場を設けるとともに、グループごとに身近な社会課題を見つけ、その解決策を考えて発表するまでのワークショップを、学校の授業内で実施しています。こうした取り組みにより、子どもたちの起業家精神を育んでいます。



Startup Weekend 北九州

スタートアップのリアルを体験する

Startup Weekendは、全世界で7,000回以上開催され、50万人以上が参加する起業体験イベントです。金曜夜のピッチから始まり、チームでビジネスモデルやプロトタイプを作成し、日曜に発表。学生から社会人まで幅広い参加者が集い、実践的な起業プロセスを学ぶ場です。北九州市でも定期開催され、挑戦の一步を後押しします。